

岡山市立公民館における新型コロナウイルス感染症対策指針 (R5/3/13 版)

新型コロナウイルス感染症の終息までは、感染拡大防止と社会生活を両立する生活様式が求められています。そこで、感染症対策に万全を期すため、公民館は、下記の指針をもとに対策を行うこととします。本指針は、公民館で行われるすべての活動(主催講座・クラブ講座、一般室貸出で行う活動)が対象です。

※本方針は、国県市の方針、全国公民館連合会のガイドラインをもとに作成しています。感染症対策に新たな知見が示された場合は、随時、情報更新を行い運用します。

1 公民館の利用について

岡山市新型コロナ感染症対策本部の方針に基づき、公民館では以下のとおりとします。

- (1) 部屋の利用者数は、人と人が接触しない程度の距離が確保できる人数とする。
- (2) 特に集団感染防止に注意が必要な活動については、「密閉」「密集」「密接」の三条件に配慮して行う。

2 基本的な感染症対策の実施

公民館の利用にあたって、次の取組をお願いします。

(1) 体調不良の方の活動自粛

- ・公民館に来られる前に、体温測定し、体調を確認してください。
- ・発熱やのどの痛み、咳等がある方や体調がすぐれないときは、来館を控えてください。
- ・代表者は体調等に不安のある方に配慮して、活動が強制とならないよう配慮してください。

(2) 活動中の感染リスクの低減

- ・手洗いや手指の消毒を徹底してください。
- ・基本的な感染対策として、「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避、「人と人との距離の確保」「換気」等の励行をお願いします。



出典：首相官邸ホームページ <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

- ・令和5年3月13日以降、マスク着用の考え方が変わります。厚生労働省の示す指針(下記参照)を参考に、マスクの着脱については、各自の判断で行ってください。マスクの使用時は、熱中症など他の健康面にも十分注意して使用してください。

岡山市関連ホームページ <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000036963.html>

参考 令和5年3月13日以降のマスク着用の考え方

令和5年2月10日厚生労働省事務連絡「マスクの考え方の見直し等について(令和5年3月13日以降の取扱い)」

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴い、マスクの着用について、行政から一律にルールを求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねることが基本となります。本人の意に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします。

※感染症対策としてマスク着用が効果的な以下のような場面では、引き続きマスクの着用が推奨されます。

<着用が効果的な場面>

- (1) 医療機関受診時
- (2) 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
- (3) 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（注1）に乗車する時
（注1）概ね全員の着席が可能であるものを除く
- (4) 新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所へ行く時

※症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、外出を控え、通院等やむを得ず外出をする時には、人混みは避け、マスクの着用をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために
マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために
マスク着用が効果的です



高齢者



慢性呼吸器病
がん
心血管疾患 など



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

3 「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避

集団感染リスク「密閉」「密集」「密接」の三条件が重なる活動は行わないこととし、「密閉」「密集」「密接」を避けるため、以下のような対応を行ってください。

(1) 密閉しない(換気の徹底)

- ・窓の開放や換気扇を回すなど、こまめな換気を実施してください。
- ・可能であれば対面する2方向の窓を同時に開け空気の流れを作りましょう。窓が1つの場合は入口ドアを開けましょう。
- ・常時換気に努め、冷暖房利用時に窓が十分開けられない場合は、毎時2回以上(30分に1回以上)窓を全開するなどして数分間換気を行ってください。

(2) 密集しない(多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮)

- ・人と人との間隔は、最低限人と人が接触しない距離をとりましょう。大声での発声が想定される場合は、十分な間隔をとりましょう。そのため、人と人との間隔が保たれるよう席の配置を工夫してください。
- ・着替えをする時に密集が起こらないよう工夫してください。

(3) 密接しない(近距離での会話や身体的接触を避ける)

①近距離での会話や大声での発声は避ける。

- ・近距離での会話や発声等が必要な場面では、飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットを徹底してください。

②身体的接触を伴う活動は避ける。

- ・直接手と手が接触するなど、身体的接触を伴う活動は、手指消毒等の対策をとった上で行うようにしましょう。
- ・共用しなくて済むものは、主催者や参加者が持参(例マイカップ持参)するなど工夫してください。
- ・幼児・子ども対象の活動は、保育園・保健所の活動で行われている感染防止対策や、岡山市立学校新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインを参考に感染予防対策を実施してください。

4 感染症対策における熱中症予防について

- ・エアコン利用時においても、温度設定を調整しながら、十分な換気を行ってください。
- ・気温や湿度の高い中でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるため、負荷のかかる作業や運動は避け、適宜、マスクをはずして休憩をとるなど熱中症対策を行ってください。
- ・こまめに水分補給をしてください。

5 寒冷な場面における感染防止対策について

- ・機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で常時窓開けを行ってください。(窓を少し開け、室温は18℃以上を目安) ※機械換気がある場合は常時換気になっています。
- ・換気をしながら加湿をするなどして、適度な湿度にしましょう。(湿度40%以上を目安)

6 特に集団感染防止に注意が必要な活動についての留意点

下記の活動については、飛沫感染や接触感染に対する危険が他の活動より大きいと考えられるため、基本的な対策とともに、以下の配慮も行ってください。

なお、各分野の統括団体等が感染予防対策のガイドラインを策定している場合は、そのガイドラインに沿って感染予防対策を行ってください。

① 大声を出すことや歌うこと、呼気が激しくなる室内活動での配慮

- ・人と人の距離を十分とり、対面での活動をなるべく行わないよう工夫してください。
- ・大声での発声等が必要な場合は、人との間隔や並び方の工夫などの対策を行ってください。
- ・合唱については「一般社団法人全日本合唱連盟」のガイドラインを参考にしてください。
→ <https://jcanet.or.jp/news/COVID-19.htm>

② 飲食をともなう活動での配慮

- ・調理や会食の前には、手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- ・会場や、調理器具、食器、食品の衛生管理を徹底してください。
- ・対面にならないよう配席を工夫し、「三つの密（密閉・密集・密接）」を避けましょう。
- ・会食はなるべく少人数、短時間で行いましょう。

③ 活動上「密接」が必須な活動

- ・直接、手と手が接触するなど身体的接触を伴う活動は、手指消毒等の対策をとった上で行うようにしましょう。

7 新型コロナウイルス感染症対策チェックリストの利用について

- ・公民館を利用する方は、本指針をもとに感染予防対策を検討し、利用時の対策を確認するために、チェックリストをご活用ください。(提出は不要です。)
- ・チェックリストの様式は、公民館振興室のホームページからダウンロードしてください。
→ <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000019832.html>

8 新型コロナウイルス感染症に関連する差別の防止

- ・新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者、濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別を行うことは許されません。公的機関の提供する正確な情報を入手し、冷静な行動に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

※施設利用時に際しての対策の確認用にお使いください。

講座名(

) 代表者

連絡先

配慮事項	内容	実施項目	個別の対策 (具体的に記入してください)	確認欄
◆基本的な感染症対策の実施				
感染源を絶つ	発熱等の風邪の症状がみられる場合は、来館しない。			
	体温測定、体調チェックする。			
感染経路を絶つ	手洗いや咳エチケットを徹底する			
	活動開始前、終了後の手洗いを必ず行う。			
◆集団感染のリスクへの対応				
密閉しない	窓を開けて実施するか、1回数分間程度、1時間に2回以上行う。			
密集しない	人と人が接触しない距離をとる。 大声の発声がある場合は、十分な間隔をとる。			
	講座入れ替え時の混雑を防ぐ工夫を行う。			
密接しない	① 近距離での会話や発声等の際のマスクの使用			
	② 身体的接触のある活動ではできるだけ手指消毒等の対策をとった上で行う。			
	③ 室内で大声を出すこと、呼気が激しくなる室内運動は十分な注意を払う。			
	④ 飲食は、対面にならない配席など「三つの密（密閉・密集・密接）」を避ける工夫を行う。			

★備考

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト・記入例

※施設利用時に際しての対策の確認用にお使いください。

講座名(**〇〇〇〇 クラブ**

) 代表者名 **岡山 花子**

連絡先 **086-〇〇〇-〇〇〇〇**

記入例を参考に、活動の特性に合わせて、どう活動すれば感染症対策となるかを記入下さい

配慮事項	内容	実施項目	個別の対策 (具体的に記入してください)	確認欄
◆基本的な感染症対策の実施				
感染源を絶つ	発熱等の風邪の症状がみられる場合は、来館しない。	○	・(例 以下同)グループで体温記入表を作り、来館前に体温記入の上、お互いに確認する。 ・熱がある場合は参加しない。	
	体温測定、体調チェックする。	○		
感染経路を絶つ	手洗いや咳エチケットを徹底する	○	・咳エチケットを徹底する。 ・講座開始前に手洗いをを行い、お互い確認する。	
	活動開始前、終了後の手洗いを必ず行う。	○		
◆集団感染のリスクへの対応				
密閉しない	窓を開けて実施するか、1回数分間程度、1時間に2回以上行う。	○	・基本、開けられる窓は開ける。 ・30分活動で休憩、換気を5分	
密集しない	人と人が接触しない距離をとる。大声の発声がある場合は十分な間隔をとる。	○	・参加者同士が接触しない距離を空ける。	
	講座入れ替え時の混雑を防ぐ工夫を行う。	○		
密接しない	① 近距離での会話や発声等の際のマスクの使用	○	・対面着席を避ける。	
	② 身体的接触のある活動ではできるだけ手指消毒等の対策をとった上で行う。	○	・他人と接触するような活動の際はこまめに手洗い、手指消毒を行う。	
	③ 室内で大声を出すこと、呼気が激しくなる室内運動は十分な注意を払う。	○	・一方向を向いて練習する。 ・室内人数を〇〇人までとする。 ・練習時間を短縮する。	
	④ 飲食は、対面にならない配席など「三つの密(密閉・密集・密接)」を避ける工夫を行う。	○	・水分補給は各個人が水筒持参	

★備考欄